

## 令和5年度 学校評価について

保護者の皆様にご協力いただきました「柳小学校教育活動に関するアンケート」を集計しましたので、ご報告させていただきます。この結果を基に、本年度の取組を見直し、よりよい学校づくりに向けて、努力していきたいと思っております。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

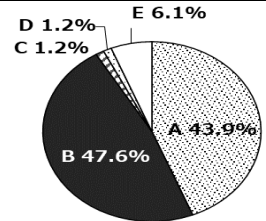
A：そう思う B：おおむねそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

### 「豊かな心の育成」に迫るための教育活動について

#### ○ 主体的な児童会活動

「委員会活動紹介」やING運動「なかよしビンゴキャンペーン」、柳っ子祭など、その他学校行事を支える活動をさまざま実施してきましたが、柳っ子は、主体的に児童会活動を行っていると思われませんか。

A	36
B	39
C	1
D	1
E	5



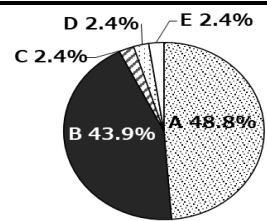
A B合わせて 91.5%という結果で、多くの方に高評価をいただくことができました。高学年を中心に委員会活動を責任をもって自分の役割を果たそうとしたり、「いじめのない学校づくり」に進んで取り組んだりしている様子を、保護者の方にも評価いただくことができました。また、期間外でしたが、能登半島地震への募金活動を柳っ子が自ら企画し実現したことも、主体的な活動の成果だと考えます。

来年度は、校内で高学年児童が果たしている役割を全校で周知できるようにするため、委員会活動の紹介する時間を設けるなど、主体的に児童会活動が行えるよう、集団の中で役割を果たしたり協力して運営したりすることができるようにしていきます。

#### ○ 交友の輪を広げる活動

「ペア集会」や「なかよしタイム」、「学年・学級で遊ぶ機会」など通して、柳っ子は、交友の輪を広げていると思われませんか。

A	40
B	36
C	2
D	2
E	2



A B合わせて 92.7%という結果で、多くの方に高評価をいただくことができました。今年度スタートした「なかよしタイム」は、年間 10 回ほど朝の時間にペア学年で遊ぶ時間です。また、「なかよしタイム」以外にも、ペア遠足や柳っ子祭のお店まわりなど、昨年度以上にペア活動を軸にした活動を充実させることができました。

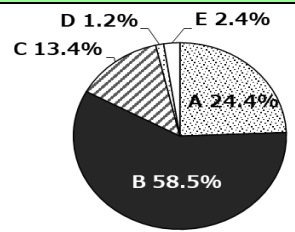
成果のあがった「なかよしタイム」をはじめ、ペア遠足、柳っ子祭などを、来年度も継続して行うとともに、休み時間にペア学級で遊ぶ時間をつくるなど、異学年交流を活性化させていきます。

### 「確かな学力の育成」に迫るための教育活動について

#### ○ 学校努力点 「WAKU☆WAKUしよう！ 夢中になろう」

わくわくする問いを立て、探究的に学習を進めることができる授業(総合的な学習の時間、生活科、生活単元学習)を目指してきましたが、柳っ子は自ら「問い」を見つけ、わくわくしながら夢中になって学ぶことができていると思われませんか。

A	25
B	48
C	9
D	2
E	6



A B合わせて 82.9%という結果で、昨年度以上に高評価を得ることができました。テーマを一新し、「わくわくしながら探究的に学ぶ」ことができるように授業を工夫してきました。また、今年度は、授業参観日にその取組の一端をご覧いただきました。

一方で、C D E 合わせて 17%という結果でした。柳っ子がこれまで以上に、わくわくしながら夢中になって学ぶためには、「こうしていきたい」「○○したい」というゴールを明確にするとともに、学習内容にかかわる出前授業や問題意識をもたせる「ふれる」活動を充実させる必要があります。そうすることで、探究課題やゴールが、自分事になり、よりわくわくしながら夢中になって学ぶことができると考えます。

だれかに言われてやるのではなく、自分で選択したり決めたりすることを大事にしながら、ゴールに向かって学んでいく姿をイメージし、一人ひとりを支援していく授業を目指していきたいと思っております。

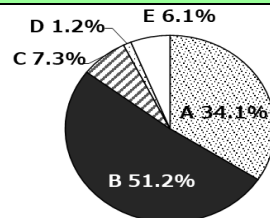


## 「健康な体の育成」に迫るための教育活動について

### ○ 体を動かしたくなる取組

休み時間の遊具の貸し出しや休み時間のイベント（まとあてゲーム、リズムなわとび）、なわとびカードなどを通して、体を動かす機会をつくってきましたが、柳っ子は積極的に体を動かそうとしていると思われませんか。

A	28
B	42
C	6
D	1
E	5



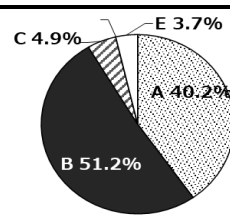
A B合わせて 85.3%という結果でした。今年度は、体を動かす「きっかけづくり」として、体育集会を年間と通じて行いました。また、「投げる（まとあて）」、「跳ぶ（なわとび）」、「走る（ペースランニング）」を、休み時間のイベントとして取り組みました。

来年度は、これまで以上に使える遊具を増やすとともに、体を動かす「きっかけ」としての体育集会を年間を通じて計画し、運動を習慣化させることができるようにしていきます。

### ○ 心と体の健康づくり

毎日の歯みがきや、保健指導、ふれあい週間などを通じて心身の健康に努めてきましたが、柳っ子は日々心と体の調和を図りながら学校生活を過ごしていると思われませんか。

A	33
B	42
C	4
D	0
E	3



A Bあわせて 91.5%という結果となり、昨年度に比べ高評価を得ることができました。毎日の歯みがきや保健指導、ふれあい週間だけでなく、学期に1度の生活リズムチェック、アウトメディアの取組などにより、多くの柳っ子が心と体の調和を図りながら生活することができています。

来年度は、歯みがきの仕方について学校歯科医の先生に指導いただく時間を設けたり、生活リズムチェックで明らかになった「姿勢が悪い」という課題を改善するため、教室に“よい姿勢”を啓発するポスターを貼ったりするなど、心と体の健康づくりを充実させ、よりよい学校生活を送ることができるようにしていきます。

### 【その他のご意見】



◎ 探究活動や体験活動を通して、社会的な事案に興味をもつようになり、とても成長がみられた。「冬のせいかつ」がなかったことも、子ども合わせた学習やゆとりのある生活ができて、有意義になった。

◎ アンケートをWEBで行う方法は、家庭と学校と連絡をとりやすい形だと思う。

◎ 行事ごとにアンケートがあり、改善しながら行事が実施されており、参加しやすくありがたい。



### 【ご提案】

▼ ペア学習は必要ない。同級生ともっと仲を深めるべき。



◎ ペア活動は子どもにとってよい刺激となる。柳っ子祭で上級生が下級生に優しく接する様子を見て、大変うれしく思った。

ペア活動について、賛否両論いただきました。本校では、グランドデザインに示すとおり「豊かな心の育成」のため、異学年交流の時間を設けています。また、文科省や市が進める「キャリア教育」においても、「他者の個性を尊重すること」や「様々な人々とコミュニケーションを図ること」が重視されています。さらに、国立教育政策研究所によれば、異年齢の交流活動を行うと、“他の人とうまく関わり合えるようになり、社会に適應する力や社会性が育つ”ということが明らかにされています。

学校生活の多くの時間を過ごす「学級」は、どちらかというと同質性の高い子どもたちの集団です。異年齢の子どもと、遊びを通じてかかわることで「人とかかわることは楽しい」と実感させるだけでなく、「自分は人の役に立っている」といった自己有用感も育むことができると考えています。本校では、来年度も継続してペアで過ごす時間を意図的に設定し、社会性を育むことができるようにしていきます。



▼ 配布された教科書をすべて持って帰ってきた。学校に置いてきてはダメなのではないか。

国による「教科書無償給与制度」により、教科書は税金によって無償で支給されています。それをきちんと過不足なく受け取ったことをご家庭にも確認していただくために、一度、持ち帰るようにしています。そのため、登校時の荷物は少なくとも、下校時の荷物は多くなることを想定し、背負うタイプのかばんで登校することをおすすめします。また、学期末や年度末も同様に、下校時の荷物は多くなることを想定されますので、背負うタイプのかばんで登校するとよいと思います。



▼ 体育館で遊べるようにしてほしい。

休み時間に体育館で大勢で遊ぶと、安全面の確保が難しいと考えます。体育館で遊ぶのは、2学級（約60人程度）までが適当と考えますので、来年度はペア学級ごとに、日にちと時間と遊びを決めて、人数を制限して安全に遊ぶことができるようにしたいと思います。それが、ペア活動を充実させることにもつながります。行事先は避けて、休み時間に体育館で遊べるようにしていきたいです。

**他にも好意的な意見やご提案など、たくさんの声をお寄せいただきました。現状を見直し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。ご協力、ありがとうございました。**